

『18歳を市民に』

高生研

第59回高生研 2021 オンライン 全国大会



会期・会場
2021年8月7日(土)～9日(月・祝)
オンライン上のZoom会場
(サテライト会場は全国各地に設営可能)

大会テーマ



日程

	9	10	11	12	13	14	15	16
7日 (土)	サテライト 受付	一般分科会 10:00～12:30			昼食 12:30～13:30	全体会 (基調討論) 13:30～16:00		
8日 (日)	サテライト 受付	一般分科会 9:30～12:00			昼食 12:00～13:30	映画「プリズン・サークル」 オンライン上映と学習会 13:30～16:30		
9日 (月)	サテライト 受付	一般分科会 9:30～12:00			昼食 12:00～13:30	13:30～15:00 総会		

全体会 (基調討論 8月7日(土) 13:30～16:00)

高生研 2021 オンライン全国大会基調発題

「震えるアンテナ」でつながり、囚われから自由になる

発題者 渡部翔子

昨年の基調発題『震えるアンテナ』は人と人をつなぎ、学校を変える」の続編である。渡部は、学年主任として、誰をも置き去りにしない学年をつくりたいと取り組んだ。その取り組みによって、2年の修学旅行に参加出来たトランスジェンダーMは、卒業式にスカートで参加したいと言った。「みんなのための卒業式だ」「リスクがある」等の囚われから揺れる学年団。渡部を中心とする学年団はどう動いたか。共に学びましょう。

主催：全国高校生生活指導研究協議会

□ 一般分科会 8月7日(土) 10:00~12:30

1 HR「支えあうHRを目指して」

奥出雅文(福井)

地域の教育力、外部からの学び、同僚教員との協働、生徒集団からのケアなど、重層的なアプローチで『学校に来づらい生徒たち』にかかわっていく実践。

2 シティズンシップ教育:民主主義社会を実現するために

三宅愛(青森)

どのような授業やHRの取り組みが社会に主体的にかかわる市民を育てるのだろうか。映画“The Greatest Showman”をの主題歌を通して自分と他者の権利に気づく英語の授業や国際的な人権資料を参考にコロナ禍における日本政府の対応を評価する英語の授業、そして文化祭のクラス展示における取り組みから探る。

3 コロナ禍での生徒会活動について

殷日洙(神奈川)

休校措置の中、様々な工夫をして生徒会活動に取り組む生徒と顧問。オンラインの企画会議から始まった取り組みが、次の取り組みに発展して多くの生徒に届き反響を呼ぶ。手応えを感じる生徒会生徒とともに、「今、必要なことは何か」を追求する実践報告。

4 「総合的な探究」さつき沼ビオトーププロジェクトの取り組み

酒田孝(青森)

閉校が決まった学校で、背水の陣として取り組んだ「総合的な探究の時間」の3年間の実践報告。公園のビオトープ化や、スピンオフ企画として始まったメイプルシロップ作りなどは、生徒が自信を持っただけでなく、地域にも大きな刺激を与えています。小さな学校が、ひたすら「面白い事」を追求し続ける。

□ 一般分科会 8月8日(日) 9:30~12:00

5 HR「自分ごとのHR」を目指してートラブルを乗り越え

砂川優

中1のコロナ禍のHR。当初、自分を出せない生徒たちは、担任の提案もあり、自主的にレクレーションや席替えなどに取り組んでいく。不登校や家庭に問題を抱える生徒たちもつながり、いじりやいじめ等のトラブルも乗り越えていく。

6 授業 学校づくり「を重ねて」

清水沙弥子(大阪)

秋桜高校へ勤務して11年目を迎える。教科担当としてだけでなく、「学校づくり」の担い手として取り組んできたことや考えてきたことなどの報告をする。子どもたちにとって必要な時間とは何か、学校とはどういうところなのかということを考えていきたい。

7 生徒会 「社会のナマに触れ、変化し成長する生徒会」

有菌和子(神奈川)

全国の高校生との交流・社会の現実に触れる活動を通しての学びから「学校は変えられるもの…と生徒誰もが考える生徒会に！」を方針化した湘南学園生徒会のダイナミックな自治活動の報告。

8 HR 『中山環くんと1年1組』

相良武紀(東京)

HR実践の記録。筋力が慢性的に低下する難病、筋ジストロフィーを患っている環くんの存在が、HR集団に他者との在り方を問いかける1年間を伝える。生徒集団が自分たちの問題として、互いに関心を持ち互いを学んでいく過程を、担任としてはどのように探ったのかを報告し深めたい。

□ 特別分科会 映画「プリズンサークル」 8月8日（日）13:30～16:30

取材許可まで6年、撮影2年
初めて日本の刑務所にカメラを入れた
圧巻のドキュメンタリー

DIRECTED BY KAORI SAKAGAMI
PRISON
プリズン・サークル
CIRCLE
www.prison-circle.com

本
当
の
理
由
ほ
く
た
ち
が
こ
こ
に
い
る

この映画には、生活指導において大事な視点が含まれています。悲惨な事件が起きると厳罰化が叫ばれ、懲罰主義が世の中にはあふれ、学校もその影響を受けています。「問題」を起こした生徒、規則を守れない生徒は罰する、でも何も解決しない。「ゼロ・トレランス」という言葉に象徴される、そんな「生徒指導」に対する、新たな視点をこの映画から得たいと思います。

今回、映画配給会社東風さんと坂上香監督の特別なはからいで、全国大会での映画視聴が実現する運びとなりました。大会参加申し込みをされた方へ、映画視聴に関するご案内を別途メールでお送りします。視聴を希望される方は、そのメールの案内により、別途参加申し込みをお願いいたします。



□ 問題別分科会 8月9日（月）9:30～12:00

1 「ありがとう不登校」苦しみに寄り添い、辛さを分かち合う親の会の出会いから。

2016年に「教育機会確保法」が公布され、休養の必要性が盛り込まれ、学校復帰の文言が廃止されました。法律はできても、子どもたちは不安なく学校を休めているのでしょうか？不登校の苦しみを通して“学校”を考え合いましょう。

2 「言いたいことが言い合える教師集団をめざして

— 『3回の懲戒指導で退学』の慣例が変わり涙を流した日までに私がやったこと—

提起者：梅原将大（静岡高生研） 運営：静岡高生研・絹村俊明

今、多くの学校現場で、人権無視の処罰主義が「生徒指導」という名のものに横行し、生徒の教育権が侵害されている。こうした現状を変えるための一歩をどう踏み出したらいいか、若い教師の報告をもとに意見交流をしたい。

3 「主体的対話的で深い学び」とは何なのか？「探究」とは何か？

～一斉授業と参加型授業を超えるために～

運営担当 藤本幹人 運営協力 西村太志 夏原常明

学びとは、仲間との対話、対象世界との対話、自分自身との対話だと言われる。対象世界との対話が進むことで学びは深まる。教師の役割は、真理の伝達者ではなく、専門家の知見に出会わせながら生徒たちと共に横並びになって対象世界と対話することではないか。実践をもとに考えたい。

4 「映画『プリズンサークル』から生活指導に必要な視点を取り出す」

この国では、悲惨な事件が起きると、メディアはそれをスクランダラスに報じ、世間では厳罰化の声が高まります。少年事件ではその傾向は一層強く、学校現場においてもその影響を無視することは出来ません。ここ数年、「ゼロ・トレランス」という言葉を耳にする機会が多くなっているのではないのでしょうか。子どもたちの置かれた現実や事情を省みることなく、機械的に罰を与えていく、それはまさに現代の懲罰主義の、学校現場における表れのように思えます。

映画「プリズンサークル」は、社会に強固にあるこのような懲罰主義に対するカウンターだと言えるでしょう。この分科会では映画から生活指導に関わる大事な視点を抽出・議論したいと思います。

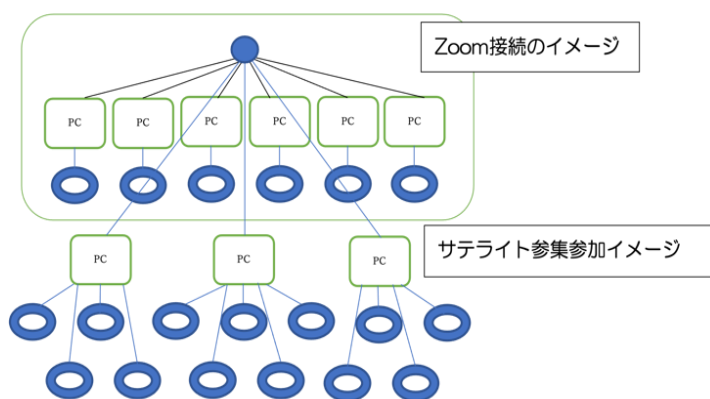
高生研2021オンライン全国大会申込について

「一人でパソコン操作はおっくうだ！」とか、「近くの仲間だったら、一緒に学習会に参加しても問題ない」という感覚の方は多いのではないのでしょうか？

安心してください「サテライト参加」という選択肢があります。

オンラインでの学習会は、日常生活とは違って端末を指先で操作して参加者とつながっていく操作が要求され、心身ともに疲れます。高生研では、コロナ禍の中でも学びを止めないために何ができるか検討してきました。そんな環境を少しでも快適な学習環境に発展できないかと「サテライト参加」という方法が選べる大会づくりを進めていきます。

簡単に言うと、接続する端末(PC)から複数人で参加することができるようにしようというものです。希望すれば、可能な限り最寄りの高生研の仲間が声を掛け合って、少人数で集まって参加してもらおうというものです。ぜひ、ご検討ください。



サテライト参加希望については「申込フォーム」から

6月25日(金)までに「[2021 オンライン全国大会参加申込フォーム](#)」右 QR コードから申込をお願いします。サテライト参加希望の方へは、最寄りの高生研のメンバーから、大会当日に集まる場所の打合せ連絡を差上げます。

※サテライト参加およびサテライト会場開設についてのお問い合わせは、dodoan7@gmail.com (安藤) に。



Zoomで行う高生研オンライン全国大会

最終の申込締め切り 7月28日(水) それまでに上記「申込フォーム」から「お名前」「メールアドレス」「参加日程と希望の分科会」をチェックして申し込んで下さい。大会直前にそれぞれの日程・分科会に対してのZoom接続案内とレポート集の案内をメールで送らせていただきます。当日は、スマートフォンでも接続は可能ですが、通信環境や画面操作などのことを考え、有線のLAN接続のパソコンでの参加を推奨します。



<高生研の案内・問い合わせはこちら>

○高生研の紹介・大会案内を掲載 「高生研大会ブロッグー18歳を市民にー」

<http://kouseiken.jp/Taikai/>

問い合わせ先 安藤誠也 (高生研大会グループチーフ) e-mail: dodoan7@gmail.com